

大分県デジタル人材育成・確保計画（R8～R12の5ヵ年計画）の概要

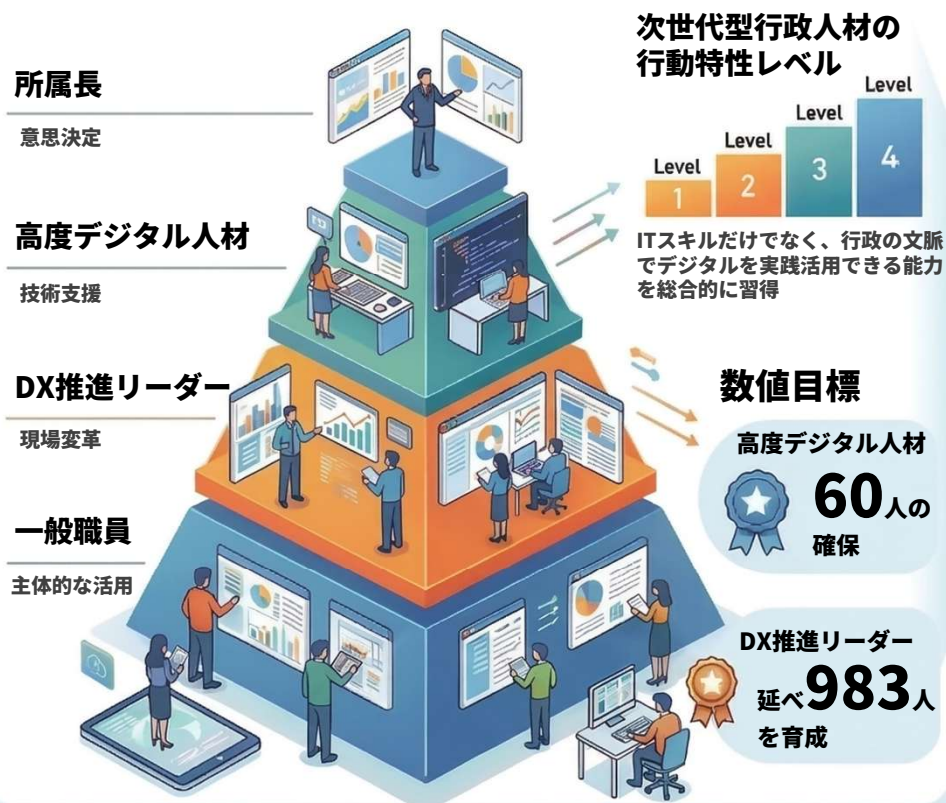
本計画の位置づけ

大分県人材育成・確保基本方針（R6～R10年度）との整合性を図りつつ、デジタル人材に焦点を当て、(1)デジタル技術活用の組織的浸透、(2)行政機関のシステム運用等に必要な高度デジタル人材（専門人材）の計画的な育成・確保、を実現するための指針として、デジタル政策課・人事課の協議の上策定した計画。

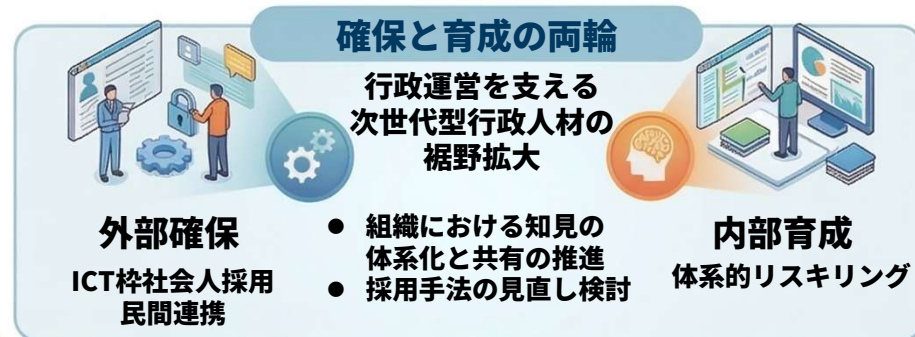
計画概要

人口減少に伴う職員不足に対応し、行政サービスを維持・向上させるため、全職員を「次世代型行政人材」へとアップデートする計画を策定。4つの人材区分を定義し、戦略的な採用とリスクリングを通じて「デジタルを前提とした行政運営」への転換を目指す。

4つの人材区別の役割と期待される行動



次世代型行政人材の裾野拡大に向けた戦略的アプローチ



高度デジタル人材の機動的確保

- 社会人経験者採用の拡大
- 民間企業との連携協定等の活用

実践的課題解決を通じた中核人材の重点育成

- 実装重視の育成
- キャリア形成支援及び環境整備

デジタルリテラシー（Di-Lite）の確保



ITパスポート、G検定、DS検定のいずれか1つの試験に合格することを基本とする